

命令文

1. 命令文ってなに？

相手に「～しなさい」と指示したり、「～して」とお願いしたりする文です。

目の前の相手（You）に向かって言うので、主語の「You」を省略します。

【命令文の公式】

動詞の原形から文を始める！

主語を言わずに、いきなり「動作」から入ることで、相手に強く響く形になります。

- You open the door. (あなたはドアを開けます)

↓ You をカット！

- Open the door. (ドアを開けなさい / 開けて)

2. 3つのパターン

動詞の種類によって、作り方のパターンが決まっています。

① 一般動詞の命令文

そのままま、動詞から始めます。

- Study hard. (一生懸命勉強しなさい)
- Look at this picture. (この写真を見なさい)
- Sit down. (座りなさい)

② be 動詞の命令文

これが盲点です！ am, are, is の「原形（もとの形）」である be を使います。

「～の状態でありなさい」という意味になります。

- Be quiet. (静かにしなさい)
- Be careful. (気をつけなさい)
- Be a good boy. (いい子にしてなさい)
- Be kind to others. (他人に親切にしなさい)

③ 丁寧な命令文 (Please)

いきなり動詞から始めると、どうしても「命令」口調で偉そうに聞こえます。

Please (プリーズ) をつけると、「～してください」という丁寧なお願いになります。

- Please open the door. (ドアを開けてください)
- Open the door, please. (ドアを開けてください)

※後ろにつけるときは、カンマ（，）を置くのがルールです。

3. 禁止の命令文 (~するな)

「～してはいけない」と禁止するときは、文の最初に Don't を置きます。
一般動詞でも be 動詞でも、必ず Don't です。

【禁止の公式】

Don't + 動詞の原形 ~.

- Don't swim here. (ここで泳いではいけません)
- Don't be shy. (恥ずかしがらないで→恥ずかしがってはいけません)
- Don't worry. (心配しないで)

4. 誘う文 (Let's)

「～しなさい」ではなく、「一緒に～しよう」と誘うときも命令文の仲間を使います。

【勧誘の公式】

Let's + 動詞の原形 ~.

- Let's go! (行こう!)
 - Let's play soccer. (サッカーをしよう)
- Yes, let's. (うん、しよう)
→No, let's not. (いや、やめておこう)